

産業建設常任委員会記録

令和 7 年 5 月 2 7 日

【開催日】 令和7年5月27日（火）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前9時4分～午前9時54分

【出席委員】

委員長	藤岡修美	副委員長	恒松恵子
委員	中島好人	委員	中村博行
委員	福田勝政	委員	宮本政志
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松秀樹		
----	------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川博三	経済部長	高橋雅彦
公営競技事務所長	木村清次郎	公営競技事務所副所長	大下賢二
公営競技事務所参事	桶谷一博	公営競技事務所主査	益富孝重

【事務局出席者】

局長	石田隆	議事係書記	末岡直樹
----	-----	-------	------

【審査内容】

- 1 議案第47号 令和7年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について
- 2 陳情取下書について
- 3 その他

午前9時4分 開会

藤岡修美委員長 おはようございます。ただいまから、産業建設常任委員会を開会いたします。本日の審査内容につきましては、お手元に示してあるとおりであります。まず、議案第47号令和7年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）につきまして、執行部の説明

を求めます。

木村公営競技事務所長 それでは、議案第47号令和7年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について御説明をいたします。なお、お手元に資料を用意しておりますので、こちらも併せて御説明させていただきます。今回の補正は、令和6年度の決算見込みにつきまして、歳入が歳出に対して不足する見込みでございますので、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づきまして、令和7年度の歳入を繰り上げて、これに充用しようとするものであります。予算書1ページをお願いします。第1条でございます。歳入歳出予算総額に、それぞれ6億8,000万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ267億8,745万8,000円とするものです。続きまして、予算書5ページ、6ページをお願いします。上段の歳入では、3款2項1目雑入、1節雑入におきまして、歳入欠陥補填収入として、6億8,000万円を計上しています。また、下段の歳出では、5款1項1目前年度繰上充用金、21節補償、補填及び賠償金におきまして、前年度繰上充用金として、令和6年度の歳入歳出不足額に充てるため、同じく6億8,000万円を計上しています。続きまして、委員会提出資料の御説明をさせていただきます。まず、資料1を御覧ください。こちらの資料は、令和6年度の各場の売上を集計したものであり、ナイトを含む通常開催・ミッドナイトレース・重勝式当たるんですの状況であります。山陽の下の合計欄が5場全体の売上合計で、総車券売上額は1,176億9,078万400円となり、対前年度比107.8%となっています。令和5年度に引き続き業界全体で1,000億円台を維持しております。このような売上状況の中、山陽場は、黄色で色塗りしている欄になります。まず、左端の開催日数ですが、上段が令和6年度の開催日数で145日となっています。下段が令和5年度の開催日数で142日ですので、3日の増加となっています。続きまして、山陽場の総車券売上額ですが、242億509万7,400円、対前年度比114%と伸びております。内訳では、公式投票、重勝式、場間場外は減少となったものの、本場売上額

は109.7%、民間ポータルが122%、専用場外が115.1%と伸びています。次に、表の中央やや右にあります本場入場者数ですが、こちらの数値は山陽場の本場開催に来られたお客さんの人数になります。年間4万3,106人の1日平均では684人で対前年度比110.3%と伸びています。続きまして、この後の資料2及び資料3ですが、資料2がナイターを含めた通常開催のみで、資料3が別枠開催と呼ばれるミッドナイトレースのみを記載したものであり、それぞれ資料1の内訳となります。まず、資料2を御覧ください。これは、ナイターも含めた通常開催のみですが、山陽場は黄色の欄になります。開催日数ですが、63日の開催となり、令和5年度が57日でしたので、6日増となりました。次に総車券売上額ですが、99億7,357万7,700円となり、対前年度比で106.8%、1日平均では、1億5,831万800円で、対前年度比96.6%と少し下がりました。続きまして資料3を御覧ください。これは、別枠開催のミッドナイトレースのみですが、山陽場は同じく黄色の欄になります。開催日数は、82日で、令和5年度の85日と比べますと3日の減となっています。次に総車券売上額ですが、121億3,354万6,400円で、対前年度比124.3%と伸びており、1日平均も1億4,797万円で、対前年度比128.9%と大きく伸びています。続きまして、資料4をお願いします。こちらの資料は、各種の決算見込数値をまとめたものになります。資料の左側に付しています番号に沿いまして御説明いたします。まず1は、令和6年度歳入歳出決算見込になります。歳入が246億5,419万4,000円、歳出が252億9,736万3,000円となり、歳入歳出差引不足額が6億4,316万9,000円となる見込みです。この、歳入歳出差引不足額が令和6年度末での累積赤字見込額となります。なお、このたびの補正予算におきましては、6億8,000万円を繰上充用金として計上しています。続きまして、2は令和6年度の単年度収支になります。歳入は1と同じく246億5,419万4,000円となります。一方、歳出には、次の3にあります、これまでの累積赤字額つまり前年度繰上充用金が含まれていますので、この金額7億8,852万円を除

いた 2 4 5 億 8 8 4 万 3, 0 0 0 円が歳出額になります。その結果、1 億 4, 5 3 5 万 1, 0 0 0 円の黒字となる見込みです。続きまして、3 は累積の赤字額になります。1 と同じ数値となりますが、こちらは、前年度からどれだけ累積赤字額が減っているのかに着目した計算になります。令和 5 年度末の累積赤字額が 7 億 8, 8 5 2 万円でしたので、この数値から、先ほどの令和 6 年度の単年度黒字額 1 億 4, 5 3 5 万 1, 0 0 0 円を差し引いた 6 億 4, 3 1 6 万 9, 0 0 0 円が令和 6 年度末の累積赤字額となります。続きまして、4 はリース料関係になります。令和 5 年度末のリース料の残額が 2 億 3, 0 1 4 万 3, 0 0 0 円で、令和 6 年度に 7, 6 7 1 万 3, 0 0 0 円返済しましたので、令和 6 年度末のリース料の残額は、1 億 5, 3 4 3 万円となる見込みです。なお、リース料の完済時期は、令和 8 年度となっています。続きまして、5 は累積赤字額とリース料残額の二つの債務が前年度からどれだけ減っているのかという数値になります。上記 3 のアと 4 のイを合算したものとなります。右端に付していますアルファベット A の 2 億 2, 2 0 6 万 4, 0 0 0 円が令和 6 年度の二つの債務解消額になり、その下の 7 億 9, 6 5 9 万 9, 0 0 0 円が令和 6 年度末の二つの債務残額となります。続きまして、6 と 7 は保有する二つの基金になります。6 が施設改善基金、7 が財政調整基金になります。6 の施設改善基金を軸により多く積み立てることとしており、7 の財政調整基金は、公営競技の施行者として不測の事態に備えるため 2 億円をめどに積み立てることとしています。両基金の増減額となります D と E を合算した下から 3 行目の 6 億 7 8 0 万 9, 0 0 0 円が、令和 6 年度に増額となった基金の総額となります。この金額に、先の A、2 億 2, 2 0 6 万 4, 0 0 0 円を加えた下から 2 行目 A + D + E の金額 8 億 2, 9 8 7 万 3, 0 0 0 円が令和 6 年度の基金も含めた実質収支改善額になります。令和 6 年度につきましても、皆様の御理解を頂きながら、単年度収支におきまして黒字、さらには基金へも一定額を積み立てることができました。こうしたことも踏まえまして、実質収支改善額という表現を用いさせていただいております。資料 4 につきましては、以上でございます。続きまして、資料 5 を御覧ください。こちら

の資料は、小型自動車競走事業特別会計をその性質により大きく三つにグループ分けをし、それぞれの収支がどうであるかを仕分けた表になります。資料の左側に付しています番号に沿いまして御説明いたします。

まず、1は開催に係る収支で、通常開催及びミッドナイト開催を合わせたもので、この部分が包括的民間委託に係る収支となります。歳入は、主なものとして、①の本場開催発売金222億2,062万3,000円、場外事務協力収入2億1,495万6,000円などを合計した⑤は、224億6,379万1,000円となります。続きまして、歳出②の義務的経費は、払戻金、JKA交付金で、備考欄に茶色でマーカーした数値158億5,839万2,000円となります。次に③の開催経費は、賞典費の10億1,097万5,000円などを合計した備考欄に黄色でマーカーした開催経費の合計49億4,359万6,000円となります。そして、項目黄色括弧書きの収益保証は、10億1,464万1,000円、④の包括的民間委託料は、6億4,716万2,000円となり、歳出も、これらを合計した⑤の224億6,379万1,000円となり、(A)の歳入歳出差引はゼロ円となります。続きまして、2は開催以外に係る収支になります。歳入の主なものは、浜松市借り上げ開催に伴う施設貸付収入3,851万8,000円や市の収益保証10億1,464万1,000円で、歳入合計は⑧の10億7,666万8,000円となります。歳出は、⑦の項目にありますリース料7,671万3,000円や一般会計繰出金7,000万円、基金積立金や前年度繰上充用金等を含めた合計17億2,986万7,000円で、(B)歳入歳出差引は、マイナスの6億5,319万9,000円となります。続きまして、3は重勝式に係る収支になります。歳入は、⑨重勝式発売金の21億2,837万6,000円になります。歳出は、⑩の義務的経費であります重勝式払戻金・返還金とJKA交付金の合計が備考欄茶色のマーカー15億7,476万6,000円で、⑪の開催経費は、各開催場への負担金、全動協への特別拠出金等の合計で備考欄黄色のマーカー2億1,720万8,000円となっています。⑫の重勝式発売業務委託料、そして⑬の施設改善基金への積立金を合計しまし

て⑭の歳出合計が、21億1,834万6,000円になります。この重勝式に係る収支（C）の歳入歳出差引は、1,003万円のプラスとなります。よって、（A）＋（B）＋（C）の合計は、6億4,316万9,000円となり、これが令和6年度末での累積赤字額となります。これら三つのグループの収支を整理し、まとめたものが表の下側になります。先ほど資料4で御説明した内容と同じものになりますので、説明は割愛させていただきます。以上、簡単ではございますが、補正予算の説明を終了します。御審査のほどよろしくお願いいたします。

藤岡修美委員長 執行部の説明が終わりましたので、委員の質疑を求めます。

まず予算書から、1ページ、2ページ、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）3ページ、4ページはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）5ページ、6ページはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは資料全体でどうぞ。

中島好人委員 資料の何番でも関係なく質疑していいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）資料3の山陽のミッドナイトの開催日数ですが、前回の85回の開催に比べて、このたびは82回の開催でありながら収入が124.3%で増えていると。日数が少ないのに増えている要因はどういうものでしょうか。

木村公営競技事務所長 ここ数年ミッドナイトを行ってきまして、かなり夜遅くに車券が購入できるということが定着してきたものと思っています。ですから、1日平均で売れる額が上昇してきているという結果でございます。

藤岡修美委員長 今の答弁、日数が減ったのに。

木村公営競技事務所長 1日平均は増えております。ちょっと説明が難しいですけど、日数が減っている以上に1日の平均が上がっているということ

であります。

藤岡修美委員長 よろしいですか。（「その要因を聞いているわけ」と発言する者あり）

大下公営競技事務所副所長 令和５年度までは、最終レースを２３時３０分で終了し、１レースを２１時から始める開催でも６レース分しか確保できませんでしたが、昨年度は日またぎ開催を２９日行いまして、８レースまでの２レース分原状復帰ができたというのもあります。もう１点大きいのは、競輪は２３時３０分がミッドナイトの最終レース発走時間です。通常のみッドナイトのとき、１９時３０分に１レースが始まりますが、競輪の最終発走時間より１０分ずらしてみたところ、秋ぐらいから徐々に売上げが上がり、最終レースが３，０００万円、４，０００万円売れることが多くありましたので、１日当たりの売上げも大きく伸びています。

宮本政志委員 議案は繰上充用の件だから、資料４、５で教えてください。資料４の１番に赤い字で繰上充用額６億８，０００万円とあり、令和５年度は８億円ですよ。去年の差額と令和６年度の決算見込みの差額を見ると１億４，５００万円です。だけど、繰上充用の額は１億２，０００万円の差ですよ。その２，０００万円の差は資料５の④の包括民間委託料が２，０００万円減だからここのかと思うけど、ちょっとこの辺りが分からないので説明してもらっていいですか。

大下公営競技事務所副所長 資料４の１の括弧書きの繰上充用額は、この額で予算化した数字を上げています。その年度の状況によって、幾ら予算化するかというのを決めていますので、その差額です。

宮本政志委員 資料５の④の包括民間委託料の２，０００万円減がこれと関係することはないということですか。

大下公営競技事務所副所長 そちらとは相関関係はありません。

中村博行委員 関連するんですけども、6億4,000万円に対して繰上充用が6億8,000万円と。6億5,000万円でもいいんじゃないかという感じもするけど、余裕を見てつくられていると思います。例年、幾らか多めということで予算立てされると思うんですけど、その辺、何か根拠らしきものがあれば教えてください。

大下公営競技事務所副所長 もう出納閉鎖まであと1週間足らずですけども、会計で全て入るもの、出るものをしっかり確認して、審査をお願いしています。万が一に請求漏れがあってははいけませんので、余裕を持って予算化しています。

中村博行委員 資料1から、本場の入場者数が若干増えているという辺り、やっぱりこれが一番気になるところです。この辺はやはり企業努力というか、何かそれに向かってされたことがあれば、教えてほしいんですが。

大下公営競技事務所副所長 本来では、昨年の予定の日数は64日でした。1日ほど中止しました。一昨年度は57日ですが、2日中止しましたので予定の日数は59日でした。差は5日ですけども、昨年、持ち回りのGⅡメモリアルの開催のため、5日増になりました。GⅡ記念レースが一つ増えたということで、入場人員が若干増えているということもあります。それと、各種イベントもJKAの御協力いただき、他の記念レースで様々なイベントを行いましたので、家族連れの方々が増えているということもあると思います。

中島好人委員 イベント等によって本場入場者数がかなり増えているということは、どういうイベントで増えたという例としてはどういいうことがあるのでしょうか。

木村公営競技事務所長 プチラーメンフェスやパンを売るフェス、それとマグロの解体ショーもさせていただきました。また通常時、キッチンカーに絶えず入ってもらおうというようなことも数回行っておりますので、そちらの要因もあろうかと思います。

宮本政志委員 先ほどの中村委員の質疑で、計算して合わなかったところがもう分かりました。さっき資料４の繰上充用の議案説明とはあまり関係がなかったから説明しなかったほうがいいかと思うんだけど、財政調整基金のことを７番で言われましたよね。２億円をめどにしていますと言われたけど、去年から６０万円しかアップしていません。そうすると、毎年６０万円だったらあと２０年ぐらいかかるけど、いつぐらいまでに２億円をめどとしているんですか。

大下公営競技事務所副所長 ２億円をめどにというのは、理想という意味合いもあります。この財政調整基金は不測の事態に備えたものですので、理想は２億円ということです。例えば施設改善基金の積立てを減らして財政調整基金の積立てを増やせばめどはつくと思います。

恒松恵子副委員長 先ほど中島委員が質問されました来場者数を上げる努力は分かりました。１人当たりの購買額がどうしてもこういう状況ですから、上がらないとは理解しておりますが、来場した方の購買額を上げる努力はどのような工夫をされていらっしゃるのでしょうか。

大下公営競技事務所副所長 特に、ＳＧレース、ＧⅠレース、ＧⅡレースなど記念レースのときは１人当たりの購買額が高くなります。それは一流の選手が多く出場していますので、ファンの信頼性が高いということです。これは難しくて、特に３連勝式に的中する確率がかなり低くなりますので、昔と違って、１人当たりの購買額が１万円という開催は、なかなかありません。それとギャンブル依存症の関係がありますので、高額な車

券を買ってくださいと宣伝できない状況です。アクセルを踏みながらブレーキも同時に踏んでいる状況ですので難しいのですが、一番は選手にいいレースをしていただくということだと私たちは思っています。

藤岡修美委員長 ほかに質疑はありますか。（「ありません」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。これより討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより議案第47号令和7年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について採決をいたします。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

藤岡修美委員長 全員賛成により本件は可決すべきものと決定いたしました。ここで暫時休憩を取ります。

午前9時40分 休憩

午前9時52分 再開

藤岡修美委員長 それでは委員会を再開いたします。続いて、審査内容の2番目、陳情取下書についてです。お手元にあるとおり、地方卸売市場に関する陳情の取下げがありました。このことにつきまして異議がありますか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）異議なしと認めます。引き続き、3番のその他に入ります。皆さんから何かありますか。よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上で産業建設常任委員会を閉会いたします。

午前9時54分 散会

令和 7 年（2025 年） 5 月 2 7 日

産業建設常任委員長 藤 岡 修 美